

事業計画書

事業名	カラマツフェス ～NO KARAMATSU NO LIFE～		
重点テーマへの該当	有 テーマを記載		
	無		
実施箇所	駒場公園多目的ひろば（〒385-0011 佐久市猿久保55）		
実施期間	事業開始予定年月日	2021年	6月 1日
	事業終了予定年月日	2021年	12月 10日
事業概要	<事業の目的> 佐久市は豊かな自然に恵まれた地域であり、全体面積の約62%を森林が占めています。森林は、整備された環境下では、木材や食材などの林産物を提供してくれることはもちろん、水を浄化し水害を防止する効果や、二酸化炭素を吸収し温暖化を防止する効果を最大限発揮します。また、循環利用できる有効資源として、人々の暮らしを支える重要な存在であり、後世へ引き継いでいかなければならない財産です。 農林水産省では、森林を再生する指針として「森林・林業再生プラン（2009.12）」が策定され、その中で「10年後の木材自給率50%以上」を目指すべき姿として掲げ、自給率を上げること（＝国産材を利用すること）が森林を再生するためには必要であることを示しました。しかし、現在の木材自給率は37.8%に留まっています。 佐久市の森林は、多くの面積をカラマツが占めています。その植樹の歴史は長く、佐久地域のカラマツが全国のカラマツ林のルーツともなっており、地域を代表する木であると言えます。現在、カラマツの利用は、土木用材としては増加傾向ですが、住宅や木材製品等、一般消費者への認知度は低く、人々の生活に浸透しているとは言い難いというのが現状です。 地域住民の皆様に、カラマツを利用することの意義を広めると共に、それぞれが森林の循環のサイクルの一部であることを知っていただくきっかけを創出することを目的とし、本事業を開催します。		
	<事業の内容> 佐久市を代表する木であるカラマツを題材とし、森林の循環利用を意識していただき、利用促進を図ることを目的とした「カラマツフェス ～NO KARAMATSU NO LIFE～」を開催いたします。 賛同していただいた、木に関わる活動を生業とする団体、企業の皆様を中心としてパートナーシップを形成し、事業を行います。 【開催日】 2021年10月24日（日） 9:00～17:00 （事前準備） 2021年6月1日～ （前日準備） 2021年10月23日 9:00～17:00 【場所】 駒場公園多目的ひろば 〒385-0011 佐久市猿久保55 【規模】 佐久地域住民1000人		

事業概要

広報計画として以下を行います。

- ①佐久地域の小学校、中学校、高校、各団体、企業などへチラシ(20000枚)、ポスター(500枚)の配布を行います。
- ②新聞、地域新聞への掲載依頼を行います。
- ③ケーブルテレビでの告知依頼を行います。
- ④SNSでの告知を行います。

【方法】

各種ブースを展開し、来場される方には様々な方法でカラマツにふれあいカラマツの良さや森林の循環利用について知っていただき、生活に取り入れるきっかけとしていただきます。

《カラマツグッズ販売ブース》

カラマツ材を使った南相木村のNATURAL LABORATORY社のMoccai(カラマツの「おが粉」が原材料のブロック玩具)、北相木村のキノハナ(カラマツのカンナくずで制作した造花)や積み木、食器などのグッズを販売します。

《ミニチュアハウス展示ブース》

各工務店に依頼し、カラマツ材を使ったミニチュアハウスを展示、マイホームやリフォームを考えている住民に、地元の有効資源を取り入れていただくことを検討していただきます。

《家具展示即売ブース》

カラマツ材を使用した家具の展示即売会を行い、地域住民の生活に取り入れていただけるようにします。

《カラマツ遊具ブース》

カラマツ材を使用した遊具を設置し、子供たちが遊べるようにし、木育という観点で、子供たちにカラマツにふれあっていただきます。

《家族で一緒に木工教室ブース》

ミニチュア製作など、子供でも製作できるカラマツ材を使用した木工教室を開催し、親子で森林やカラマツについて知ってもらえるようにします。

《カラマツ森のエコストープ実演販売ブース》

カラマツストープの実演販売を行い、カラマツの燃料としての有効性も知っていただきます。

《カラマツ関連企業団体ブース》

駒場公園のカラマツ並木を歩きながら、カラマツや地域の森林の現状について学ぶことのできるブースを設け、地域の自然やカラマツに目を向けるきっかけを作ります。

《カラマツについて掲示ブース》

佐久地域のカラマツや森林の歴史、製品、加工技術などについて学ぶことのできるブースを設け、知識を深められるようにします。

《フードブース》

キッチンカーなどで出店してもらい、持ち帰り可能なカラマツを使った食器で食事を提供します。可能な場合、調理自体も木材を燃料として調理していただくことを検討しています。

【新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策】

- ①屋外で開催いたします。
- ②入場時に検温を実施、入場口、各ブースに消毒液を設置いたします。
- ③参加者来場者には飲食時を除きマスクを着用していただきます。

事業概要	<達成目標> 内閣府政府広報室が行った「森林と生活に関する世論調査」の中で、「木材製品を購入する場合、その産地についてどのようなことを意識しますか？」の問いに回答者の49.8%が「国産材であること」を選択しています。本事業のアンケートでは「カラマツフェスに参加して今後木材製品を購入する場合、その産地についてどのようなことを意識しますか？」の問いに対する回答の「国産材であること」の割合を80%にします。また、「カラマツフェスに参加して、カラマツを使用した製品を製品を生活に取り入れたいですか？」という質問に対しての「取り入れたい」という回答の割合を90%にします。
	<広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）> 配布予定のチラシ、ポスター、また会場横断幕へ「佐久市まちづくり活動支援金事業」と記載いたします。
	<重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）>

年間計画	4月	
	5月	
	6月	事前準備開始 参加企業・団体広報開始
	7月	チラシ・ポスター作成印刷
	8月	一般来場者広報開始 チラシ・ポスター配布
	9月	参加企業、団体説明会 佐久青年会議所メンバー説明会
	10月	10月23日：前日準備 10月24日：事業当日 10月25日：撤収作業
	11月	アンケート集計、事業検証
	12月	事業実績報告
	1月	
	2月	
	3月	

特記事項	地域や社会にどのような利益がもたらされるか	<「公益性」の視点> 市民の皆様には佐久市の有効資源であるカラマツの良さを知ることができ、森林の循環利用について知る機会となります。森林の循環利用を意識して生活していただくことで、佐久市の森林が守られ、山崩れなどの土砂災害にも強くなり、豊かな自然の景観保全にも繋がります。
	どのような点に独自性や工夫があるか	<「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点> 木に関わる活動を生業とする団体、企業の皆様を中心としてパートナーシップを形成、連携を深めて事業を展開することにより、今まで各団体、企業で行ってきた普及活動以上の波及効果を得ることが出来ると考えます。また事業後も継続して各団体、企業の皆様がより強固なパートナーシップを組み、連携して活動を行う一助となります。
	市内へどのように取組が波及していくことが見込まれるか	<「波及効果」や「発展性」の視点> 市民の方々に地元産材であるカラマツ製品を利用していただくことで、製材、製品製造を行う企業が発展しカラマツ材の価値も上がり、それにより林業関係企業、団体も発展し森林の保全も進み、森林の循環利用のサイクルが円滑になることが見込まれます。
	活動を継続するためにどう取り組むか	<「自立性」の視点> この事業を行うことで、各団体、企業のパートナーシップ、連携が深まることが期待でき、新たに森林やカラマツなどの地域産材に興味を持つ団体、企業も出てくることも考えられます。地域産材の利用価値を上げることで、各団体、企業の運営、人材の確保にも良い影響が出ると考えます。そして各団体、企業がさらに地元産材の利用普及活動に力を入れることが出来ます。
	翌年度以降の活動内容概要	今回の事業を行うことで、参加していただく団体、企業のパートナーシップがより強固になります。今後、様々な団体からカラマツフェスのような事業や活動などの声が上がり、地域の団体、企業で協力して活動を行うようになることを目指します。
	事業の最終目標	佐久市の人々に地元の木材、森林について考えていただくことで、佐久市の森林の循環利用のサイクルを確立し、持続可能な森林経営を行えるようになり、地域の発展に繋げることです。